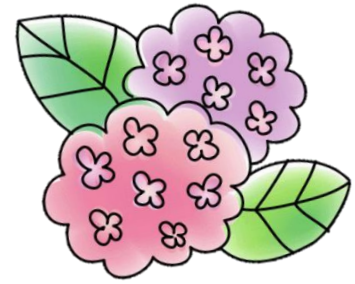


あじさい



2020年度 役員・委員会紹介

役員



保健師職能委員会

3人体制で協力しながら、保健師職能としての役割を遂行していきたいと思えます。会員の皆様に役立つ研修などを企画していきたいと思えます。会員の皆様

方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

助産師職能委員会

助産師職能委員会は、新たなメンバーも加わり3名で活動しています。札幌4支部合同で委員会を開催し、研修会の企画運営及び施設間の情報共有を行っています。今年度は7月

に助産師ラダーの必須研修を含む2つの研修会を予定しています。(中止となりました)皆様に満足して頂けるよう委員一同取り組んでいきます。よろしくお願い致します。

看護師職能委員会

看護師職能委員会は、第I・II領域合同で病院・施設・在宅等で働く全ての看護職の看護の質の向上をめざし、皆様が抱えている課題や問題解決のための検討を行っています。

今年度から医療安全交流会も担当し、実践で活かせる研修の企画、運営を行ってまいります。有意義な研修会・交流会となるよう準備しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

教育委員会

教育委員会は新メンバー含む9名で活動しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は「看護管理者育成研修」が中止となってしまいましたが、10月に予定しています「リー

ダーシップ研修」は開催できることを願っています。

また、多くの方が参加したくなるような研修を目指し、今後も取り組んでいきたいと思えますのでよろしくお願い致します。

広報出版委員会

広報出版委員会は、6名で活動を行っています。「看護の日」の健康相談イベント、北海道看護協会内の支部ページの記事を作成、更新を行っています。

いつも、いつも委員会で

は和気あいあいと楽しく、活動を行っています。

今年度は新型コロナウイルスにより活動は自粛されておりますが、会員の皆様のお役に立つ情報発信を行います。

働き続けられる職場づくり推進委員会

働き続けられる職場づくり推進委員会は、日々、健康障害などに悩まされている患者や高齢者施設などの利用者の生活を支え、生命を守り寄り添う重要な役割を果たしている看護師さんの働

き続けられる環境を推進する活動を行っています。

活動内容としては、小規模施設間交流研修や研修企画などを行い、皆様にとって良き職場を作れるように努めていきたいと思えます。

推薦委員会

推薦委員会は、改選される役員・委員の推薦、令和3年度北海道看護協会、令和4年度日本看護協会の代議員・予備代議員を推薦する役割を担い活動を行います。今年度は委員6名、会合

が少なくともまめに連絡を取り、協力しながら公正公平に推薦活動を行ってきたいと思えます。

会員の皆様のご協力、何卒よろしくお願い致します。

【札幌第2支部大会】

令和2年2月15日(土)に札幌ビューホテルで札幌第2支部大会が開催されました。会員参加人数は149名で役員・推薦委員・代議員・予備代議員の選挙が行われました。事業報告・予算案を役員及び各委員会から報告され承認されました。



【三職能合同交流会】

看護師専門トータルライフプラン 岩井裕太郎先生を講師にお招きし、「しなやかに働き続けるためのナースのライフプラン～貯められない貴女のマネー戦略」というテーマで講義をしていただきました。人生における様々なリスクの中で、個人としてライフプランの戦略を立てていくことが備えとして必要であると話されており、そのためにはまず

は自分の現状を把握することが大切であると教えていただきました。どのように貯蓄するかをタイプに分けてわかりやすく説明いただき、改めてお金について考える良い機会となりました。老後資金や物価上昇などについて話題となる昨今では、目的・期間・資産に合わせ、自分らしいお金の貯め方を見つけることが大切であると学ぶことができました。



●●●●● 研修会中止のお知らせ ●●●●●

当協会の研修事業等につきましては、日ごろからご協力をいただき厚くお礼申し上げます。札幌第2支部では、4月から始まる研修会等の開催に向けて準備を進めてきたところですが、新型コロナウイルス感染症の終息する見通しが立たず、今後も感染拡大防止対策を継続する必要があると考え、5～8月に開催予定の研修会を中止することにいたしました。9月以降の予定に関しましては、改めてご案内させていただきます。みなさまの健康と安全を最優先に考えた措置ですので、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

《 編集後記 》

快晴となる事が多くなり気温が上がり、本来なら外出する機会も増え楽しい時期なのに、新型コロナウイルス感染拡大により対応に追われることになっております。この様な事態だからこそ看護協会により看護師同士が繋がり情報共有などが必要だと改めて思いました。 広報出版委員 M・N

